

NPO法人「にっぽん文明研究所」第71回セミナー：藤原和晃氏講演 & 神儀古式宮舞・巫女舞

日本の伝統文化と精神性を見据える「にっぽん文明研究所」は第71回セミナーとして、神儀古式宮舞98代家元・藤原和晃氏と舞のご一門の方々をお招きします。藤原先生は神代に遡る“古代神事と法則の舞”を代々受け継がれて来られました。太古、言霊の気の躍動と共に身体の振りをもって大自然に坐します神々に祈念し、場を浄めてきた古儀・神儀の優雅な舞が、今回、私共の要望で久々に披露されます。

オープニングには、櫻月流美剣道の神谷美保子氏が舞われます。お越しをお待ちします。(奈良 泰秀)



◆『巫女の舞は太古の神写・中継ぎ意乗り役』◆

講演：藤原和晃氏 舞：神儀古式宮舞

(神儀古式宮舞九十八代家元、光ノ宮総司)

—太古スメラ期— 縄文古代期の舞 舞二題「ヒヨノヤチ(古代)」 「氣与め舞(日巫女)」

今回は二通りの舞をお目もじ戴き、中継ぎの法則の解説と古代の正史をお伝えします。巫女の舞が社殿式の舞となる迄は、精霊の交わる氣を中心に、アマハラを廻るといふ神儀舞が始まりです。元来、天の川を中継する意味で降ろされ、巫女は各地で古代土着のアララキやワタル族に、神写しの原理を神写で祈り捧げる方法を伝えて参りました。渡来民族に依る「ヤマト王権」の確立前迄は…!



◆ オープニング 舞：「櫻の舞」◆

神谷美保子氏 (桜月流美剣道 宗家)

◆『神女と消える久高島のイザイホー』◆

講話：奈良 泰秀 (神職、NPO法人「にっぽん文明研究所」代表)



沖縄の久高島は琉球時代から最高の聖域。島には600年伝えて来た口誕生の秋祭があります。それは午年の12年ごとに、旧暦11月15日の満月から4日間行なわれるイザイホー。島は、神霊と神女が交流する聖地と化しました。

- 日時：平成25年3月20日(水/祝) 1:30p.m～5:00p.m (12:30p.m 開場)
- 会場：國學院大學 院友会館 (TEL: 03-3400-7781, 〒150-0011 東京都渋谷区東4-12-8)
- 入場料：今回予約のみ 一般・¥4,000円. 学生・¥2,500円

第71回セミナー 参加申込み (Fax送信用) * 締切り=25年3月13日(水)

* 締切日前でも定員のなり次第 締切ります。当日の入場券はありません。(担当：事務局・藤田)

Fax：送信先 045-491-7461 e-mail：info@nippon-bunmei.jp Tel：045-481-9361

ご芳名： (歳)

ご住所：

お電話：

ご職業：

会場地図



* 入場料：当日お支払いです。ご予約後のキャンセルはしないでください。

【院友会館 アクセス】渋谷駅より都営バス学03系統・國學院大學前または東4丁目下車、徒歩3分。恵比寿駅より都営バス学06系統・東4丁目下車、徒歩2分